

---

# 先輩

綾

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

先輩

### 【Nコード】

N7553A

### 【作者名】

綾

### 【あらすじ】

届かない距離がある事を知りました。想うだけでは報われない事を知りました。夏の似合う貴方を、私はただただ見つめるだけ。夏の片想い。

## プロローグ

先輩。

貴方をそう呼ぶのも今更な気がします。だからと言って、名前を口に出来るほど親しい訳でもありません。

結局、貴方を表すには『貴方』しか無い事に気付き、私と貴方の距離を感じずにはられません。

分かりきっているはず、割り切ったはずの『歳の差』が、日毎私を苦しめるのです。決して埋まる事無い空白の2年間を、貴方を想う事で帳消しにしようとしている私を、貴方は馬鹿だと笑うでしょうか。それでも、こんなにも貴方に惹かれてやまない私の

気持ちは、貴方が幾つ年上だろうと、決して揺るぐ事はありません。意気地の無い私は、貴方へ伝える術を知りません。けれども、いつこのまま一方通行の想いを抱いて生きる方が、幸福なのかもしれない。そうやって逃げ道を探しては日々を過ごしています。

それほど私が悩んでいるのに、貴方はいつまで経っても気付く事なく、あちこちに笑顔を振り撒いて。その度に、私の心を締め付けては、離さず。私を引き付けてやみません。貴方を想う反面、憎らしくもあります。それでも、廊下で貴方を探してしまうのは、心が求めているからに他ならないのです。

そんな日々を送る内に、段々と我慢が効かなくなっていく今日この頃です。ふつふつと、どこかで何かが叫ぶのです。このまま黙って想い続けるなんて無理だ。

いつだって私を突き動かすのは、貴方だけである事に、早く気付いて下さい。もう、夏がやって来ましたね。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7553a/>

---

先輩

2010年10月17日05時02分発行